

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期大磯町まち・ひと・しごと総合戦略推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

神奈川県中郡大磯町

### 3 地域再生計画の区域

神奈川県中郡大磯町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町は、1973年に第一次となる総合計画を策定して以来、「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」の実現をめざし、先人たちから引き継いできた豊かな自然や歴史・文化を生かし、人口の増加とともに発展してきた。しかし、本町の人口は2010年に33,032人と頂点に達して以降、緩やかな減少を辿っており、2025年には30,754人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2065年には総人口が23,034人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態を見ると、年少人口（0～14歳）は2010年の4,051人から減少し、2025年には3,267人となる一方、高齢者人口（65歳以上）は2010年の8,810人から2025年には10,761人と増加の一途を辿っており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2010年の20,171人から2025年には16,726人となっている。

自然動態をみると、出生数は2017年の201人から減少傾向にあり、2025年には96人となっている。その一方で、死亡数は2025年には437人と増加の一途を辿っており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲341人（自然減）となっている。

社会動態をみると、一貫して転入者が転出者を上回る社会増となっているが、2016年から緩やかに増加幅が縮小し、2025年は転入者数1,088人、転出者数1050人と38人の社会増となっている。

今後も人口減少や少子高齢化の進行が、労働力人口の減少や生産・消費構造の変化、地域コミュニティの衰退、管理不全の空き家等の増加、町財政の根幹をなす町税収入の減少、社会保障関連経費の増大など、住民生活や財政運営に大きな影響を及ぼすことが予測される。

このような状況下で、豊かな自然や文化・歴史を次世代に引き継いでいくためには、人口減少に歯止めをかけることが重要である。そのため、人口の自然増・社会増に向けた対策と町民の健康長寿に向けた対策の2つの視点を置き、急激に変化する社会に適応しながら、子育て・教育環境の向上、福祉・医療の充実、地域活性化、防災などに取り組んでいくことで、「住んでみたい」「住み働きたい」「いつまでも住み続けたい」と思えるような「住みよいまちづくり」をめざす。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 子育て・教育でみんなわくわく大磯
- ・基本目標2 住めば健康大磯
- ・基本目標3 アトラクティブな大磯
- ・基本目標4 大磯スタイルの防災と安心

#### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	出生数	99人	100人	基本目標1
ア	子育て世代の転入世帯数	425世帯	450世帯	基本目標1
ア	児童・生徒の学校に対する満足度	80.95%	96.1% 以上	基本目標1
イ	65歳以上に占める介護認定者の割合	18%	20.7% 以下	基本目標2
イ	地域生活への移行に伴う福祉施設の入所者の減少	36人	32人 以下	基本目標2
イ	特定健康診査受診率	県内8位	県内1位	基本目標2

ウ	観光消費額	27億円	32億円 以上	基本目標 3
ウ	新規開業数	24件	36件 以上	基本目標 3
ウ	生き物調査や自然体験・ 学習会の参加者数	16人	300人 以上	基本目標 3
エ	防災訓練等の参加者数	2,747人	4,000人 以上	基本目標 4
エ	おおいそ防災・行政ナビ 登録件数	9,813件	20,000件 以上	基本目標 4
エ	公共交通サービスの導入 数	1件	5件 以上	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

大磯町まち・ひと・しごと総合戦略推進事業

ア 「子育て・教育でみんなわくわく大磯」事業

イ 「住めば健康大磯」事業

ウ 「アトラクティブな大磯」事業

エ 「大磯スタイルの防災と安心」事業

#### ② 事業の内容

ア 「子育て・教育でみんなわくわく大磯」事業

こども・若者の育ちを社会全体で支える仕組みづくり、子育てに優しく、魅力ある保育・幼児教育への環境づくり、わくわくするような大磯

教育の推進に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・妊娠前、妊娠・出産期から子育て期を通じた切れ目のない支援
- ・地域資源を活用した大磯らしい保育・教育の提供
- ・GIGAスクール構想による教育活動の推進 等

イ 「住めば健康大磯」事業

主体的な健康づくり活動の支援、包括的な支援体制の整備、生涯健康に向けた保健・医療の推進に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・自主的な健康づくり活動の支援
- ・包括的な支援体制の充実
- ・各種健診（検診）の受診勧奨 等

ウ 「アトラクティブな大磯」事業

地域に賑わいを創る大磯らしい観光振興、意欲的な人が集まり、元気で活気のある地域産業の活性化、みんなの思いから実現する“人と自然が共生するまち”の実現に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・大磯らしい潤いづくりの促進
- ・多様な担い手の確保や育成の支援
- ・環境学習・体験機会の充実 等

エ 「大磯スタイルの防災と安心」事業

みんなで高める地域防災力の向上、災害に強い防災基盤の強化、誰もが快適に利用できる地域公共交通の実現に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・総合防災訓練等の継続実施
- ・災害情報伝達手段の確保
- ・移動手段の維持・確保 等

※ なお、詳細は第3期大磯町総合戦略（大磯町第五次総合計画後期基本計画）のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,500,000 千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度11月ごろに開催される、学識経験者、地域代表者、公募町民などの外部有識者による審議会にて、これまでの実施状況、KPIの進捗状況等を報告し、事業の方向性等への意見聴取を行うとともに、評価検証を行う。評価検証の実施後は、町ホームページにて結果を公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

**6 計画期間**

2026年4月1日から2031年3月31日まで